

設立20周年 記念誌



©UNICEF/UNI497743/Ahmed



©UNICEF/UNI498560/Filippov

千葉県ユニセフ協会

目次

- 1 千葉県ユニセフ協会 会長ご挨拶
- 2 (公財) 日本ユニセフ協会 会長ご挨拶
- 3 千葉県知事ご挨拶
- 4 千葉市長ご挨拶
- 5 生活協同組合コープみらい 代表理事 理事長ご挨拶
- 6～13 20年のあゆみ
- 14 千葉県ユニセフ協会 専務理事ご挨拶
- 15 千葉県ユニセフ協会 事務局長ご挨拶
- 16 メッセージ
- 17 「設立20周年ユニセフのつどい」への取り組み
- 18～19 ボランティアさんからのメッセージ
- 20～21 お祝いメッセージ紹介
- 22 千葉県ユニセフ協会 役員一覧

ご 挨拶



千葉県ユニセフ協会
会長 横手 幸太郎

千葉県ユニセフ協会の設立20周年にあたり、これまで本協会の運営にご尽力・ご支援を賜りました皆さまに心から感謝とお祝いを申し上げます。わが国では、1955年に日本ユニセフ協会が設立され、ユニセフ本部との協力協定に基づき、募金活動や広報活動、アドボカシー活動などに取り組んできました。そして、千葉県では、本協会の前身である日本ユニセフ協会千葉県支部が、2004年に国内で14番目の支部として設立され、今日に至っています。

2004年6月には、「千葉県支部設立を祝う会」が開催されたことが記録に残っています。この時は、80名の会員やスタッフが集い、のちにシリアで命を落とされたジャーナリストの後藤健二さんを特別ゲストに迎えていました。当初は緊張感のあった会場が、ゲームなどの催しもあり、徐々に和やかな雰囲気になっていったそうです。

2004年8月に発行された機関紙「ともだち」の創刊号には、当時の磯野可一初代会長が、「地震や災害、戦争など自然の猛威や、大人の果てし無い欲望の犠牲となり、人間として生まれ、人としての一生を全うする事の困難に晒され、人を恨む、憎む、そして、葛藤の生涯であってはならず、人にはそれぞれの仕合わせを求め、心豊かに自然の美しさを楽しむ権利があります。(中略)又、イラクでは連日の如く痛ましい子どもたちの死傷者の姿を直接テレビで見ることができます。世界の皆んなの力で、何らかの形で助け合い、強調と平和の世界をつくろうではありませんか。その何らかの形は単なる募金だけではなく、私たちの出来る範囲での行動を積み重ねることも大切だと思います。」という挨拶文を寄せられています。

20年の時を経て、紛争の起きている場所こそ変われど、地球上の問題や救われない子どもたちの状況が今も同様に続いていることに愕然といたします。AIに代表されるテクノロジーが進歩し、先進国の標準的生活は豊かになる一方、日本国内においても格差が拡がり、子どもが被害者となるばかりでなく、未成年者による犯罪が日々報道されることにも心が痛みます。

そのような中、日本ユニセフ協会、そして千葉県ユニセフ協会の活動が、同じ思いを共有する会員の皆さまによって綿々と継承されていることは、未来へ向けた光です。募金やボランティア、教育・啓発活動など、一人ひとりができることを通じて、思いやりとやさしさの輪を広げていくことが、必ずや社会を明るい方向へ導き、子どもたちに幸福をもたらすと信じます。これからも本協会へのご理解とご支援をお願いし、協会のさらなる発展と皆さまのご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

20周年おめでとうございます



(公財) 日本ユニセフ協会
会長 高須 幸雄

千葉県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。長年に亘り、千葉県において世界の子どもたちのためにユニセフの活動をご支援下さいました貴会の皆様に感謝申し上げます。また設立20周年を迎えるにあたりご尽力賜りました皆様に心からの敬意を表します。

「ユニセフ募金千葉事務局」から始まり、2004年に「日本ユニセフ協会千葉県支部」設立、2011年4月の日本ユニセフ協会の公益財団化に伴い「千葉県ユニセフ協会」と名称変更となりました。現在、千葉県内における唯一のユニセフ活動の拠点として、各学校への出前授業やハンド・イン・ハンド募金活動にとどまらない多彩な活動に取り組まれています。中でも、体験ボランティアによる成田空港などで募金された外貨コインの仕分け作業や使用済み切手の収集、また、ウォーキングなどで快い汗をかき、それがユニセフを通じて世界の子どもたちの支援になるというラブウォークの活動を2023年には千葉県各地で季節ごとに年間4回開催されています。

さて、ユニセフにとっても、今年は「子どもの権利条約」が国連で採択されてから35年、日本が批准してから30年という記念すべき年となります。ユニセフでは、子どもの権利条約の普及に向けて努力しておりますが、子どもの権利条約の4つの基本的考え方である「差別の禁止」、「子どもの最善の利益」、「生命、生存及び発達に対する権利」、「子どもの意見の尊重」は、その理念がこども基本法にも取り入れられております。

ユニセフはすべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、「保健」、「栄養」、「水と衛生」、「教育」、「子どもの保護」、「緊急支援」を活動分野として約190の国と地域で活動しております。中でも5歳未満児の死亡数は確実に減っており、2000年の年間990万人から2022年は490万人に半減しました。しかし、その多くは早産、出産前後の合併症、肺炎、下痢症、マラリアなど、予防または治療可能な原因で起きています。すべての子どもがすこやかに成長していけるように、私どもと一緒にユニセフの活動にお力添えくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。

応援メッセージ



千葉県知事
熊谷 俊人

千葉県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げますとともに、皆様のこれまでの御尽力に深く敬意を表します。

昨今、ロシア連邦によるウクライナ侵攻や、パレスチナのガザ地区での紛争など、世界には依然として、紛争や地震などの自然災害に伴う貧困や飢餓、劣悪な衛生環境による病気などに苦しむ子どもたちが大勢存在し、年間数百万人もの大切な命が失われています。

子どもたちは世界の「宝」であり、未来への希望です。大切な命を救うためにも、子どもたちへの予防接種の普及、衛生的な環境の確保や栄養改善などに向け、国際社会が一致団結して支援を行っていく必要があります。

貴協会は、設立以来、公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結ぶ県内唯一の団体として、世界の子どもたちの権利を守るため、多くのボランティアの皆様とともに、募金、学習支援、広報等の活動を積み重ねてこられました。

県内での広報・啓発イベントを通じ、貴協会の輪がさらに広がり、また、県内でのさまざまな地域活動や国際協力の取組が一層促進することを期待しております。

県では、国際協力の一環として、日本ヨウ素工業会・京葉天然ガス協議会・公益財団法人成長科学協会と連携・協力して、毎年、マダガスカル共和国にヨウ素の贈呈を行っております。

ヨウ素は「ヨード」とも呼ばれ医薬品・工業品に使用されるほか、人が成長するためにも不可欠な栄養素です。甲状腺ホルモンの成分として必須のものであり、特に乳幼児期・小児期では身体および知能発達の障がいの原因となりうることが知られています。千葉県が豊富な産出量を誇る資源が、世界の支援に繋がっていることを嬉しく思います。

今後すべての子どもたちが、健やかに成長し、必要な教育を受け、次世代の担い手として自立していくことができるよう、県も貴協会と手を携えて、取り組みを進めてまいります。

結びに、貴協会の益々の御発展、会員等の皆様の御健勝、御活躍を心より祈念いたします。

祝 辞



千葉市長
神谷 俊一

千葉県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

2004年4月、全国で14番目となる公益財団法人日本ユニセフ協会の地域組織として設立されて以来、世界の子どもたちの生存、保護、発達、参加のためのユニセフ協力活動に積極的に取り組まれ、多大な成果を収めておりますこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

世界では、依然として、多くの子どもたちが紛争や貧困、自然災害、あるいは感染症などによって予断を許されない状態に置かれております。

これらの問題を解決するための第一歩は、広く人々に世界の子どもたちが置かれている状況を知ってもらうことであり、貴協会の学校・地域への訪問やインターネットを通じた広報活動は、解決に向けて私たち一人ひとりに何ができるかを考えるきっかけとなる、大変重要な役割を果たしております。

また、トルコ・シリア大地震などの自然災害や世界各地で起きている紛争への緊急募金、アフリカ栄養危機緊急募金など、危機に直面する子どもたちとその家族を支援するためのユニセフの活動は、世界中の方々が多くの関心を寄せる取り組みです。

このような中、貴協会では、民間企業や各種団体と連携した「ハンド・イン・ハンド」街頭募金をJ R千葉駅やイオンモール幕張新都心等で行うなど、市内各地においても多様なユニセフ協力活動を活発に展開されておりますこと、大変意義深いことです。また、「ちば市国際ふれあいフェスティバル2024」にご参加いただき、広報・啓発活動を実施して下さったことは、多くの方にさまざまな文化や国際交流・国際協力への理解と関心を深めていただくという目的に大きく寄与するものであり、同フェスティバルの意義がさらに深まりましたこと、重ねてお礼申し上げます。

今後とも、未来を拓く子どもたちが健やかに育つ世界の実現に向けて、共に手を携えて行動してまいりましょう。

結びに、千葉県ユニセフ協会の今後ますますのご発展と皆様方のご健勝・ご活躍を祈念して、祝辞といたします。

祝 辞



生活協同組合コープみらい
代表理事 理事長 熊崎 伸

千葉県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

千葉県ユニセフ協会は、千葉県におけるユニセフ活動の拠点として、世界の子どもたちの命と健康、未来を守るために、地域社会や文化に根付いたユニセフの広報・学習支援などの啓発活動、募金活動などに取り組んでこられました。これまでの関係各位のご尽力に対し、深く敬意を表します。

コープみらいの前身である、ちばコープの時に福本事務局長とともに日本ユニセフ協会千葉県支部設立に際し、理事や評議員の依頼に各地を回ったことが思い出されます。

その後、千葉県ユニセフ協会と連携した地域の草の根的な取り組みの積み重ねの一つ一つが、ちばコープ、そしてコープみらいのユニセフ活動の礎を築き上げてきました。

また、コープみらいでは、宅配や店舗でユニセフ募金を通年で組合員に呼びかけています。

通常の募金以外でも、アフリカの子どもたちの栄養不良を改善する活動を支援する「ハッピーミルクプロジェクト」は、コープの牛乳の購入という、組合員が気軽に参加できる社会貢献として広く浸透し、目的としている現地での栄養改善プログラムも大きく進んでいます。

一方で、世界各地で頻発する自然災害、相次ぐ地域紛争など、多くの子どもたちやその家族が苦しみの中におかれています。生協がユニセフ活動に初めて取り組んだのは、1979年の国際児童年。当時、開発途上国の子どもたちは毎日何時間も水汲みの労働を強いられており、生協は安全で清潔な水を送る「バケツ一杯の水を送ろう」を合言葉に募金活動を始めました。生協は助け合いの組織であり、この活動をきっかけにユニセフとの歩みは今も受け継がれています。設立から20年となった現在も、千葉県ユニセフ協会はコープみらいと連携しながら、学習会やラブウォーク、広報活動など多様な活動を展開されています。

コープみらいは、さまざまな社会課題の解決に向け、「未来へつなごう」をスローガンに、地域の諸団体とともに取り組んできました。世界中の人々が平和で健康に生活できることや、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることは、ユニセフのめざす姿と重なります。これからも、身近にできる国際協力、社会貢献活動としてユニセフの取り組みをコープみらいは応援し、地域の活動から世界に笑顔が広がっていくことを期待しています。

結びに、千葉県ユニセフ協会が地域での活動に寄与し、今後ますます発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

千葉県ユニセフ協会 20年のあゆみ

機関誌「ともだち」をもとに20年を振り返りました



歴代会長の紹介

千葉大学学長に県ユニセフ協会の会長にご就任いただき、ユニセフの輪を広げてまいりました。



磯野 可一
2004年～2005年



古在 豊樹
2005年～2007年



齋藤 康
2007年～2014年



徳久 剛史
2014年～2021年



中山 俊憲
2021年～2023年



横手 幸太郎
2024年～

2004年

4月2日

財団法人日本ユニセフ協会千葉県支部が設立される



2004年4月2日(財)日本ユニセフ協会千葉県支部発足
6月26日「千葉県支部設立を祝う会」開催

総勢約80人の参加者・スタッフが支部の発足を祝いました。

ご挨拶
千葉県支部会長 磯野可一

人にはそれぞれ幸せを求め、こころ豊かに自然の美しさを楽しむ権利があります。世界のみんなの力で何らかの形で助け合い、協調と平和の世界を作るではありませんか。その何らかの形は単なる募金だけでなく、私たちができる範囲での行動を積み重ねることだと思います。

講演「子どもたちのためにわたしたちにできること」
ジャーナリスト 後藤健二氏

unicef for every child



2009年

6月28日

設立5周年記念式典

市原悦子さん 朗読とお話し
真珠まりこさん お話会

8月23日

第5回ユニセフのつどい

後藤健二さん 講演
ルー大柴さんも募金協力



2024年

4月2日

設立20周年

千葉県ユニセフ協会理事会評議員会終了後
 役員の皆様と設立20周年の記念写真を撮りました



数字で見る20年（2004年～2023年度）

イベント名 年度	募金総額	ユニセフ・ラブウォーク		ユニセフ・サポートゴルフ大会		ハンド・イン・ハンド	ユニセフ教室		使用済み 切手募金額
		人数	募金額	人数	募金額	募金額	団体数	人数	
2004	39,473,665	-	-	-	-	129,056	43	4,614	-
2005	29,052,044	-	-	133	286,904	113,105	36	2,280	-
2006	34,059,932	-	-	160	405,478	197,377	47	4,180	8,000
2007	30,684,789	-	-	132	214,864	385,606	41	4,711	20,070
2008	24,614,605	102	33,937	140	252,100	321,173	40	3,515	-
2009	25,535,245	117	23,400	139	250,500	372,543	30	1,974	12,580
2010	27,437,947	173	39,606	140	246,000	401,374	29	2,290	12,210
2011	6,863,386	293	76,500	114	205,500	367,288	24	2,020	4,100
2012	16,084,375	115	46,037	103	193,810	316,544	27	3,508	13,790
2013	18,196,564	308	122,837	102	171,000	337,226	23	2,256	12,350
2014	26,170,493	224	96,333	110	204,774	221,899	28	3,021	8,500
2015	40,354,002	271	110,338	98	275,049	286,057	29	3,495	24,450
2016	15,952,984	373	176,500	158	442,999	568,382	24	2,094	5,750
2017	8,963,596	214	96,500	113	313,491	612,729	25	2,033	17,600
2018	17,113,424	446	186,100	140	402,042	635,107	19	1,409	7,650
2019	14,342,082	311	156,270	84	254,635	644,255	20	1,033	2,550
2020	12,955,368	150	80,644	中止		160,072	10	668	-
2021	16,743,653	284	148,858	148	439,823	633,532	18	725	28,180
2022	23,381,821	296	199,293	132	392,181	137,370	38	3,976	60,960
2023	20,685,430	342	232,258	130	373,998	1,051,423	29	2,384	92,545
合計	448,665,405	4,019	1,825,411	2,276	5,325,148	7,892,118	580	52,186	331,285

20年間で4億4,866万5,405円の募金となりました。

日本ユニセフ協会主催 スタディツアーへの参加

2006年	ラオス	和田和美
2008年	ネパール	酒井奈津子
2017年	ブルキナファソ	伊東栄美子

千葉県ユニセフ協会 指定募金先 視察

2010年	モルディブ共和国	福本朋子
2012年	モルディブ共和国	小林奈加
		福本朋子

〈こんな活動をしています〉 20年間で多くのみなさまとつながり、輪を広げてまいりました

千葉県ユニセフ協会の活動は約80名のボランティアさん、そして県内中学・高校生ボランティアさんによって支えられています。ユニセフのつどい、ハンド・イン・ハンドには市原中央高校や昭和学院秀英中学高校のみなさんが、またユニセフ・ラブウォークでは開催地域の高校生が活動を支えてくださっています。



市原中央高校



昭和学院秀英中学高校

・ユニセフのつどい

毎年開催。世界の事を学んでいくことを中心に講演会など開催してまいりましたが、設立15周年にて国谷裕子さんに講演いただいて以来、テーマをSDGs目標達成に向けた取り組みとしています。子どもから大人まで多くの方が「ユニセフのつどい」を通してユニセフの輪を広げていきたいという思いで開催しています。

2021年



SDGs13

気候変動に具体的な対策を
「最近の異常気象と気候情報の活用について」



2022年



SDGs12

つくる責任つかう責任
「マシンガンズ滝沢さんと考えようSDGsと環境問題」



2023年



SDGs10

人や国の不平等をなくそう
「誰もが一緒に参加できるスポーツ『ポッチャ』を体験しよう」



・ユニセフ教室

20年間で 580団体 52,186名 が参加

県内各地の学校、団体などから依頼を受け、ユニセフ教室を開催。世界の子どもの現状や、「SDGs(持続可能な開発目標)」「子どもの権利条約」についてお話ししています。

・国際理解講座・講演会開催

ジャーナリスト 下村靖樹さん 玉本英子さん また、絵本評論家 松本猛さんを講師に、平和について考える講演会を開催しました。これからもSDGs目標16「平和と公正をすべての人に」について継続して考えていきたいと思えます。

・ユニセフパネル展

そごう地階ギャラリーにて4団体による国際協力パネル展を継続して開催しています。



千葉県



ちは国際コンベンションビューロー



JICA千葉デスク



千葉県ユニセフ協会

・ブース出展

国際フェスタChiba、ちば市国際ふれあいフェスティバルなどに参加、またジェフユナイテッド市原・千葉のSDGsマッチデーに出展するなど、他団体との交流を深め、ユニセフの活動紹介や募金活動を実施しています。



SDGsマッチデー 選手と一緒に募金活動

・ **使用済み切手整理、外国コイン仕分け** **20年間で 使用済み切手による募金 331,285円**
 自宅に眠っている使用済み切手、外国コインを回収し、ボランティアさんが整理。ユニセフ募金につなげています。コロナ禍での自宅のできるボランティア活動として、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」の活動として広がっています。

・ **ユニセフ・サポートゴルフ大会** **20年間で 参加者 2,276名 募金額 5,325,148円**
 参加者自身が楽しみながら、社会貢献、世界の国々に目を向けてみる…できることから始めよう！そんな思いで始まったユニセフ・サポートゴルフ大会です。鹿野山ゴルフ倶楽部様を会場に、毎年開催しています。

2023年 ユニセフサポートゴルフ大会

第18回ユニセフサポートゴルフ大会

11月28日(火) 鹿野山ゴルフ倶楽部
 参加者: 130名
 募金額: 325,000円 ※参加費の一部をハンド・イン・ハンド募金といたしました
 48,998円 ※ワンオンチャレンジ及び募金箱他をガザ人道支援緊急募金としてご協力いただきました

協 賛: (株)千葉銀行、(株)京葉銀行、千葉テレビ放送(株)、石井食品(株)、(株)和郷、キリンビバレッジ(株)、(株)伊藤園、東京湾フェリー(株)、ベイエフエム(株)、龍宮城スパホテル三日月、東京サラヤ(株)、キッコーマン(株)、和倉酒造(株)、(株)真田本店、(株)WATANABE、(株)グリーンタワー、運合千葉、アサヒビール(株)、ジェフユナイテッド(株)、(株)マザー牧場、房総開発、鹿納会、生活協同組合コープみらい千葉県本部



第18回ユニセフサポートゴルフ大会、台風を思わせるような大風が吹き、参加のみなさまは大変だったかと思いますが、無事に参加者130名がプレーを終え、笑顔で久しぶりの表彰式となりました。今回はホールインワンを達成した方もいらっしゃいました。初参加の方から18回すべて参加の方もいらっしゃり、世界の子どもたちへの支援につながる本大会をこれからも事務局として頑張っていきたいと思ひます。



・ **ユニセフ ハンド・イン・ハンド** **20年間で 募金額 7,892,118円**
 千葉駅 松戸駅 船橋駅 イオンモール成田 アリオ市原など県内各地で、ハンド・イン・ハンド千葉(街頭募金活動)を開催！ボーイスカウト・ガールスカウト・市原中央高校・佐渡ヶ嶽部屋・阿武松部屋など多くのみなさまとともに活動をしてきました！



ユニセフ・ラブウォークMAP

ボーイスカウト・ガールスカウトのみなさんが参加し協力してくださっています。

● 柏市

柏市あけぼの山公園から布施弁財天へ



● 我孫子市手賀沼

フェイスブックボードを作成



● 香取市佐原

伊能忠敬銅像前にて



● 成田市下総

みんなで体操



● 栄町

毎年房総のむらで開催

● 船橋市

イオンモール船橋にて船橋歩こう会さんとのつながりができ、以来ずっと協力いただいています



● 銚子



潮風を浴びて歩きました

● 袖ヶ浦市

袖ヶ浦高校 ボランティア協力



● 東金市

東金高校を拠点会場とし多くの東金高校生がボランティア協力



● 君津市

久留里城



● 大多喜町

大多喜高校 ボランティア協力



● 館山市

安房高校 館山総合高校 安房西高校 ボランティア協力



● 鴨川市

長狭高校 ボランティア協力



子どもたちに明るい未来を



千葉県ユニセフ協会
専務理事 首藤 英里子

2024年4月2日、千葉県ユニセフ協会は設立20周年を迎えることができました。ボランティアの皆さまの日々の活動を始め、千葉県ユニセフ協会の運営に多大なるご支援をいただいた在任中の役員の方々、歴代の理事・監事、評議員の皆さまに心から感謝申し上げます。

20年前、世界では5歳未満に亡くなる子どもの数は1年に1200万人以上。3秒に1人の子どもが亡くなっていました。現在5歳になる前に亡くなる子どもの数は年間約500万人。この20年間で大きく改善されました。しかし、2022年2月にはロシアのウクライナ侵攻、2023年10月にはパレスチナ、ガザ地区での戦闘と、つらいニュースが毎日のように届き、常にそこには過酷な状況下の子どもたちの姿があります。また、地震、台風、洪水など世界中で様々な災害が起きています。

このような子どもを取り巻く厳しい状況を伝え、子どもたちにできることは何かを考え、ユニセフの活動を多くの方に理解していただく活動として、地域や小中学校での学習会、ボランティアスタッフや地域の方のご協力によるパネル展示など県内各地で積極的に取り組んでまいりました。

毎年年末に千葉駅頭で行っているユニセフハンド・イン・ハンド募金の活動では、ボーイスカウト、ガールスカウトはじめ、各団体の方々と理事・評議員の皆さまのご協力をいただき、多くの方が募金をしてくださいました。子どもたちと一緒にユニセフの取り組みを知っていただく、この募金活動は大変意義深い活動となっています。

千葉県下の様々な取り組みは、県内6つのブロックに分かれて活動するボランティアスタッフの皆さまと事務局スタッフの、熱心な活動によって支えられています。また、会費によって運営と活動を支えていただくユニセフ・ちばフレンズも、多くの個人や企業の方のご協力をいただいております。

20周年を記念してユニセフへの想いをロゴに託していただきました。寄せられたどの作品にも、子どもたちの笑顔、希望、一人ひとりが手をつなぎあって進んでいくユニセフの姿が描かれていました。

一人ひとりの力は小さいけれど、その力が集まれば大きな力になります。

どの国に生まれても、安全で住む家があり、水も食料も確保されて、子どもたちが夢や希望をもって健やかに育つことができるよう、様々な方と連携しながら、ユニセフの輪を地域にひろげていきます。

これからもより一緒のご支援を御願いたします。

「子どもの権利条約を広めていきたい」



千葉県ユニセフ協会
事務局長 福本 朋子

2024年4月2日 千葉県ユニセフ協会はおかげさまで設立20周年を迎えることができました。そして、私自身事務局として20年間、世界の子どもたちの支援を行う、「ユニセフ」に関わらせていただけたことに喜びと感謝の思

いでいっぱいです。設立5周年では、市原悦子さん 真珠まりこさん、10周年には、アグネス・チャンさんにご講演いただきました。そして15周年では、国谷裕子さんに「2030年に向けて、私たちにできること～SDGsで未来を考えよう～」という演題でお話しいただき、以来毎年開催する「ユニセフのつどい」では、SDGsの目標をテーマにして私たちができることを考える場づくりを進めてまいりました。この5年間で、SDGsという言葉は子どもから大人まで広く定着して、理解も深まってきたと感じています。そして、目標となる2030年まで残り5年余りとなりました。2030年、世界はどうなっているのだろうか？と不安になります。SDGs目標16「平和と公正をすべての人に」という目標があるにもかかわらず、紛争地帯で暮らしている、または紛争地帯から逃れようとしている子どもが4億人以上。ウクライナ、ガザだけではありません。世界の各地で今もなお紛争が続いているのが現実です。

千葉県ユニセフ協会では、県内にて、「ユニセフ教室」という形で、小学校、中学校、高校、大学 大人の方々に向けても、世界の現状、ユニセフについてなどお話しし、私自身もユニセフ教室を開催しながら、多くの事を学ぶ機会を得ています。近年は、SDGsについてお話すること、またユニセフの活動の基本である、「子どもの権利条約」についてお話しする機会が増えました。2023年4月に、日本でも「子ども基本法」が成立、施行されたことは大きな一歩だと感じています。「ユニセフの活動は、開発途上国に向けての活動で、日本は支援する側である。」という考えがあるかもしれません。私自身も、20年前はそんな考えで活動に参加していました。しかし、2011年東日本大震災で、日本も半世紀ぶりにユニセフの支援を受け、改めて多くの国々から日本にユニセフ募金が届いたことを経験し、「ユニセフの活動は、世界中の子どもたちに向けて、子どもの権利を守るため必要なことを進めていくもので、国による区別はない！」ということ強く感じました。目の前に困っている人がいたら、何か声をかけていくこともユニセフの活動の一つだと感じています。「ユニセフ教室」という形で、県内の様々な方々に、子どもの権利について話をする、そのこと自体が、千葉県ユニセフ協会としての、「ユニセフ活動」の大きな意味だと感じるようになりました。

私は、生活協同組合ちばコープ（現生活協同組合コープみらい）の組合員であったことがきっかけでユニセフと出会いました。コープの組合員の友人から、「今度コープでユニセフの話聞き、ベトナム料理を食べる集まりがあるから行ってみない？」そんなお誘いを受け、「ユニセフってどんなことやっているのかな。行ってみようかな・・・」そんな思いで参加しました。世界の地理にも疎く、ユニセフがどんな活動をしているのかも知らないなかでのスタートでした。ちばコープが「ユニセフ募金千葉事務局」として、日本ユニセフ協会から委嘱を受け、県内のユニセフ募金の窓口となっていたことがきっかけで、ユニセフと出会うことができました。今も変わらぬ思いは、より多くの方に世界の現状を知らせ多くの方と一緒に活動をしていきたい。わかりやすい言葉で、わかりやすく私たちの思いを伝えていきたい。楽しく活動していきたい。世界の現状は厳しいけれど、支援の形は自由に柔軟に考えていきたい。ということです。歩いてユニセフ募金につながる、「ユニセフ・ラブウォーク」ゴルフを楽しむ方々と「ユニセフサポートゴルフ大会」そして、昨年からは誰もが参加できる「ポッチャ」も活動に取り入れました。「設立20周年 ユニセフのつどい」でも、参加者みんなで「ポッチャ」を通して交流します。コロナ禍、対面ができずオンラインによる活動の利点もありましたが、やっぱり対面しお互いが笑顔で励ましあう事が千葉県ユニセフ協会の活動として大切にしていきたいことです。そして、①SDGs目標達成②「子どもの権利条約」の推進を重点課題として今後も活動を進めていきたいと思ひます。

メッセージ～スタッフとしてかかわって～



千葉県ユニセフ協会 設立20周年おめでとうございます。県協会の様々なイベントにご参加・ご協力いただいた多くの方、企業・団体の皆さまに、心から御礼申し上げます。

私が千葉県ユニセフ協会の事務局として関わらせていただいた10年以上の月日が流れました。この5年間は、大きく変わった世界情勢の対応に追われた5年間でもありました。特に、2021年からの新型コロナウイルス感染症のパンデミック。事務所の在宅勤務を取り入れたり、オンラインでの打ち合わせ・講演会・募金。ユニセフに関わっていなかったら、体験しなかったであろうことが多々ありました。オンラインだからこそのイベントにより、県内だけでなく日本各地から参加いただいた講演会や使用済み切手の仕分け。そこから多くの繋がりも始まりました。永く続けてきた「ユニセフ・ラブウォーク IN 房総のむら」、感染対策をこうじながら開催し、多くの方が参加できたこと。そこから、私たちに多くの学びと・経験を得ることができました。

どのような状況下でも、いつも前向きで、泉のようにアイデアが溢れだす事務局長の後を、必死で追いかけた10年だったと思います。その中で、役員・ボランティアスタッフ・関係者の方々との作り上げた経験は、私にとってかけがえのないものとなりました。

これからも、世界中の子どもたちの笑顔のため、皆さんと一緒にユニセフの活動を広げていけたらと思います。

植嶋 美城子

千葉県ユニセフ協会設立20周年おめでとうございます。

この20年の間、県内外から多くの方が千葉県ユニセフ協会の活動に参加してくださいました。スポーツや料理教室、自宅で参加できる使用済み切手ボランティアなどバラエティに富んだ企画は、自分の趣味や興味・関心ごとからユニセフ活動に参加するきっかけとなっており、ユニセフの輪が着実に広がっていることを実感しています。

また、携帯電話からスマホへと通信手段の変化に対応し、メールやホームページ・SNSでの広報やYouTube、オンラインイベントを取り入れたことも輪の広がりにつながったと感じています。

私は事務局の運営スタッフとして7年間お世話になりました。千葉県ユニセフ協会の歴史の中で3分の1でしかありませんが、たくさんの方との出会いと交流、苦勞あり歓喜あり涙ありの多岐多様な経験、活動をともした役員・スタッフ、関係者のみなさまとのご縁は私のかけがえのない財産となりました。

これからも世界中の子どもたちの笑顔を守り、さらに笑顔が増えるようユニセフの輪を広げていきましょう。

森岡 直子

私が海外の子どもとの関りを持ったきっかけは、長女が生まれた30数年前、厳しい環境で暮らす子どもに何かできることはないかという思いでタンザニアの少女のフォスターペアレントになったことでした。その後、日本ユニセフ協会マンスリー会員としてサポートを続け、子育てと仕事が一段落した昨年より千葉県ユニセフ協会ボランティアとしての活動をスタートしました。素晴らしい仲間とも出会い日々充実した日々を送っています。まだまだ学ぶことだらけですが、厳しい環境で暮らす子どもたちの役に立てるよう、そしてまた、日本の子どもたちへ、子どもの人権や平和の大切さを伝えるお手伝いをさせていただきたいと思います。

永田 昌代

千葉県ユニセフ協会が取り組んだ
フレンドネーション
(オンライン募金)

ユニセフ
ウクライナ緊急募金

2023年も継続します！紛争が終わることを祈る！ウクライナ...

千葉県ユニセフ協会
ウクライナ緊急募金

197,125円 29人 2023/3/31

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

180,871円 41人 2022/7/31

ユニセフ
トルコ・シリア国境で大地震発生 ユニセフ「自然災害」...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
トルコ・シリア国境で大地震発生 ユニセフ「自然災害」...

170,968円 51人 2023/6/30

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

132,049円 33人 2022/4/10

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

107,807円 13人 2023/12/31

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

116,769円 29人 2022/11/31

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

108,309円 33人 2022/6/31

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

105,465円 40人 2021/6/31

ユニセフ
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

2023年も継続します！知ることから始めよう〜アフリカ...

千葉県ユニセフ協会
SDGs目標16 平和と公正をすべての人に〜ウクライナ...

61,200円 27人 2020/10/31

「設立20周年 ユニセフのつどい」への取り組み

「設立20周年 ユニセフのつどい」の概要が決まりつつある2023年末から「設立20周年準備会」を立ち上げ出来るだけ多くのボランティアスタッフが運営に関わり、「みんなで一緒に設立20周年を祝おう！」を目標に作り上げた行事です。

日時	名称	参加者	内容
2023年 11月29日(水)	第27回理事会・評議員会 (ホテルグリーンタワー幕張)	千葉県ユニセフ協会 理事・評議員・顧問・監事	・「設立20周年 ユニセフのつどい」開催内容に関する協議（ポッチャ体験・子どもからの情報発信の機会など） ・設立20周年記念ロゴマークを公募により制作することを決定。各事業にてロゴを冠して広くアピールすることとした。
12月11日(月)	設立20周年準備会 (ZOOM)	理事会・評議員会参加ボランティア、事務局（参加6名）	・設立20周年記念ロゴマークの応募に関するルール（応募要項など）・審査方法・発表方法について協議・決定 ・「ユニセフのつどい」の方向性や講演者の候補、20周年の進め方（企画・運営）などについて協議。「設立20周年ボランティア会」を立ち上げ、企画・運営を主体的に行っていく。
12月25日(月)	設立20周年記念ロゴマーク 募集開始	-	・応募期間：2023/12/25～2024/2/13
12月26日(火)	設立20周年ボランティア会 (ZOOM)	設立20周年ボランティア会 メンバー（参加7名）	・記念ロゴマークの告知・広報について協議。 ・「ユニセフのつどい」ポッチャ体験の協力者を確認 ※20周年ボランティア会は、参加登録したボランティアスタッフが主体となって運営します。
2024年 1月26日(金)	設立20周年ボランティア会 (ZOOM)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・設立20周年記念誌の制作について ・ロゴマーク応募状況 ・ボランティア会メンバーを広げるためには
2月27日(火)	設立20周年ボランティア会 (桜木事務所)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・記念ロゴマークの選定について ・記念誌の制作について ・最終選考7作品決定
3月4日(月)～ 3月15日(金)	県協会役員による 記念ロゴマーク投票	千葉県ユニセフ協会 理事・評議員・顧問・監事	・記念ロゴマーク応募作品への投票
3月28日(木)	第28回理事会・評議員会 (ホテルグリーンタワー幕張)	千葉県ユニセフ協会 理事・評議員・顧問・監事	・設立20周年記念ロゴマークの決定
3月29日(金)	設立20周年ボランティア会 (ZOOM)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・設立20周年記念ロゴマークの発表 ・祝う会について ・設立20周年メッセージ動画作成
4月3日(水)	設立20周年をボランティア で祝う会（桜木事務所）	設立20周年ボランティア会 メンバー	・機関誌ともだち58号紹介 ・2008年スタディツアー報告（ネパール） ・設立20周年に向けてメッセージ
5月31日(金)	設立20周年ボランティア会 (ZOOM)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・設立20周年記念ロゴ活用について ・式典について ・記念誌について
6月26日(水)	設立20周年ボランティア会 (桜木事務所)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・「設立20周年ユニセフのつどい」流れ確認 ・設立20周年記念誌 ・ボランティアさんの声確認
7月26日(金)	役員懇談会 (ホテルグリーンタワー幕張)	千葉県ユニセフ協会 理事・評議員・顧問・監事	・設立20周年について意見交換 ・ポッチャ体験を実施しました。
8月1日(木)	八千代子どもサミット	八千代市小中学校児童生徒 他	・地域ディスカッション「地域とのつながり『相手への尊重』をかんがえる ・千葉県ユニセフ協会：「SDGを通して世界を知ろう！～私たちの未来に向けて～」
8月2日(金)	設立20周年ボランティア会 (桜木事務所)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・設立20周年ユニセフのつどい組織図・ホテル配置図の確認 ・参加案内について
9月18日(水)	設立20周年ボランティア会 (桜木事務所)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・設立20周年ユニセフのつどいボランティアスタッフ活動内容・担当・流れなど ・つどいで使用する備品などの整理・作成
9月25日(水)	設立20周年ボランティア会 (ZOOM)	設立20周年ボランティア会 メンバー	・設立20周年ユニセフのつどい最終確認
9月29日(日)	設立20周年記念 ユニセフのつどい2024	一般含め170名参加（予定）	会場：ホテルグリーンタワー幕張

設立20周年記念ロゴについて

2023年末の千葉県ユニセフ協会理事会・評議員会で、記念ロゴを広く一般応募で決めることとなり、2023年12月25日～2024年2月13日で募集し、19点の応募がありました。君津市在住の小野敏雄さんの作品が20周年記念ロゴとして選定されました。ロゴの主旨は「この子の笑顔を守るため、私はユニセフ輪を広げます」です。どの作品もユニセフへの思いが込められ、世界の子どもたちへのあたたかな心が伝わってくる素敵な作品でした。そこで応募作品を「ロゴとなかまたち」として発表させていただきました。



ボランティアさんから寄せられたメッセージ



東葛ブロック

私がボランティアをやってみようと思ったのは、子どもたちの為なんて優しい気持ちはありませんでした。「仕事を辞めてから何をしよう」ユニセフでもやろうかな・・・なんて気持ちから始めました。色々なイベント・学習会・講演会を聞くようになって、戦争・飢餓・男女の差別など、ボランティアに参加して自分が学習させてもらっていると今は思います。知らない事沢山ありもちろん沢山あって当たり前です。でも知ること事も大事なのかなと今思えるようになりました。
鈴木雅子

千葉県ユニセフ協会20周年のうち、私はボランティアとして何年関わっているのだろう。足かけ12~13年くらいだろうか。内容はともかく長く続けているなあと思う。
そのなかで大きな事件が「ブルキナファソ」へのスタディツアー参加だ。「ブルキナファソのこと忘れないで欲しい、多くの人に伝えて欲しい」と現地の人々が言っていた。今治安悪化で渡航注意だが次の記念誌が発行される頃には、安定した国になって欲しい。
伊東栄美子

佐倉・八千代ブロック

私が千葉県ユニセフ協会にお世話になり、早や10年が過ぎました。
現職のところに地域の方々より多大なご支援をいただくことに対し、少しでも感謝の気持ちを現わせればと思い、参加させていただきました。
年々そのエネルギーは減ってはいますが、世界の子どもたちのために少しでも役に立てるようなことをやっていきたいと思っています。
鮫田信夫

北総ブロック

事務局の方たちをはじめ素晴らしい仲間恵まれ、現在も楽しく活動を続けられることに心より感謝申し上げます。
募金をする以外にUNICEFにかかわれる方法があるなんて知らなかった20数年前・・・
その時々貴重な機会をいただき、たくさん刺激を受けて、千葉県ユニセフ協会とともに私自身が成長できた気がしています。25周年、30周年も仲間とともに笑顔で迎えられるよう精進していきます。
酒井奈津子

千葉・四街道ブロック

創立20周年おめでとうございます。15周年のメッセージをついこの間書いたような気がするほど、コロナ禍のあったこの5年間は、あつという間に過ぎた気がしています。
初めてのオンライン会議に戸惑ったものの、オンラインだからアフリカの方とも繋がれることに感動しました。また、ユニセフに関わったからこそ、世界の紛争、SDGs、子どもの人権条約など様々なことを学ぶ機会を得られ、視野が広がったことに感謝しています。
これからも微力ながら活動に参加していきたいと思っています。
篠崎良子

千葉県ユニセフ協会、役員・関係者の皆さん、設立20周年おめでとうございます。
世界の子供たちのための様々な活動に尽力されてきた20年、本当にご苦労様です。
私がスタッフとして参加してから15年弱、いろいろ思い出はありますが、15周年記念誌に長々と書かせていただきましたので、ここでは割愛させていただきます。
ただし、この5年間の大半が世界的な新型コロナ禍に翻弄され、多くの活動に制限が課されたことは記憶に残ることだと思っています。私にとっては、そのお陰で「Zoom会議」というものを初めて経験し、今も参加し続けていることは信じがたいことです。
蛭田隆

千葉県ユニセフ協会設立20周年おめでとうございます。成人式をむかえ、新たな一歩を踏み出す時ですね。世界の子ども達、そして、これから生まれてくる子ども達がいつも笑顔で過ごせる地球になる様に、地道な日々の活動の積み重ねが大切だと思っています。
一人でも多くの方にユニセフを知っていただき、少しでも行動して頂ける様にお声かけして行きます。
金野博美

房総ブロック

県協会が15周年を迎えた頃は、世界の子どもの状況は少し明るい兆しが見え、SDGsも世の中に認知され始め、達成を目指し効果も出始めていました。

でも、それからの5年間は世界中をパンデミックが襲い、ウクライナ、パレスチナでは先の見えない戦いが続き、子ども達にとって最近にない厳しい状況です。

その様ななか、子ども達がそれぞれの夢を実現でき、笑顔で暮らせる日常を実現するお手伝いが、少しでもできたらと思います。

永井真由美

市川・船橋ブロック

ベトナムを紹介するイベントに参加した際に生協の職員さんから外国コインの仕分けボランティアに参加しませんかと声かけされたのが20年以上前のことでした。

それから少しずつユニセフのボランティアに参加するようになり今に至ります。

自分にできることは限られますが、ボランティアスタッフとしての出会いを大切にしつつこれからも細く長く今までと変わらない活動を続けていきたいと思っています。

漆原千佳

私がボランティアとして関わったのは2019年9月～、活動は非常に色濃く、刺激の連続でした。

会社をリタイアして、ボランティアを始めた私が最初に説明を受けたのはSDGsと言う聞きなれない単語。SDGsがここまで一般的になっていることに自分の無知さを知らされました。

また、機関紙の編集で講演会の原稿を書くに当たって、深掘りして講演内容を調べたり、講演者のブログを読み、思いの強さに感動したりと活動に関わったことで多くのことを学ばせて貰っています。今後も可能な限り、他のボランティアさんと進んで行けたらと思います。

草野喜行

総務部 切手仕分けボランティア

私が千葉県ユニセフ協会のお世話になったのは、2年前の地域新聞に切手ボランティアの募集があり参加しました。その後、切手のボランティア・ユニセフボランティア講座などに参加させてもらい、先輩の方々に教えてもらいながら来ました。

今回、千葉県ユニセフ協会設立20周年行事に参加出来、今後もユニセフに関わって行きますので、宜しくお願い致します。

柳原正

千葉県ユニセフ協会の2023年度の使用済み切手による募金額が92,545円。日本、外国合わせて181kgの使用済み切手が集まり募金となりました。これは切手を寄付して下さった方々、切手仕分けボランティアの思いの結集です。

ユニセフの活動はいつでも誰かを思う人の温かさで成り立っています。一人の力は小さくてもたくさん集まれば大きな力になっていく。私は、そんなユニセフの心を大切に参加させていただきたいと思っています。

大沼美喜子

ユニセフ機関紙の今年の新春特別企画特集を読み、日本も終戦後、ユニセフに色々お世話になったことを知り、あらためて感謝の気持ちが生じるとともに、現在、戦争に苦しむ世界各地の子どもたちを助ける活動に参加したいと思いました。

私はボランティア登録したばかりで、外国コインや使用済み切手の仕分け等に2回参加しただけですが、この活動が世界の子どもたちへの支援につながると思うと、大変幸せな時間をすごさせて頂いています。

倉阪智子





「設立20周年 ユニセフのつどい」開催に向けて みなさまからお祝いメッセージをいただきました

9月12日までの
到着分を
掲載させて
いただきました。

20年間の歩み おめでとうございます
これからは次世代を担う子どものために ユニセフ運動の歩みが
深くこころをこめ、地域メディアとしても協力していきます

設立20周年誠にありがとうございます。
貴協会ますますのご発展を祈念しております。

設立20周年記念式典を遠くからでも心から応援させていただきます。
より一層の発展を祈ります。

これまでの20年をリカウ(宝)とし、これからの20年に飛躍する
千葉県ユニセフ運動
(協会)

設立20周年おめでとうございます。
困難を克服し乗り越え続ける組織姿勢が素晴らしいです。
子どもたちのためにこれからも一緒に歩んでまいります。

20周年おめでとうございます。
明るく楽しく世界を思いやる千葉県
ユニセフ協会を応援します
みなさま

設立20周年おめでとうございます

設立20周年おめでとうございます。
ユニセフへの理解を深めるイベントや講習会などに一緒に
活動させていただきありがとうございます。
ユニセフのこどもの権利を守るという使命とガールスカウトの目標は重なる部分
が多々あります。
これからも世界の子どもたちのため頑張ります。

設立20周年おめでとうございます

千葉県ユニセフ協会設立20周年 誠にありがとうございます

千葉県ユニセフ協会設立20周年おめでとうございます
子どもたちの笑顔と健全な成長を願います

世界の子どもの笑顔と健全な成長を願う これからも微力ながら
ご協力させていただきます

20周年おめでとうございます

今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます



設立20周年おめでとうございます。
日頃の熱意と創意工夫に裏打ちされた活動に敬意を表します。
これからもますます発展していきますようお祈りいたします。

設立20周年 おめでとうございます。
ご盛会と お祈りいたします。 20周年おめでとうございます

千葉県ユニセフ協会設立20周年を心よりお祝い申し上げます
貴会のこれまでのご功績に敬意を表しますとともに
今後のさらなるご発展と皆様のご活躍をお祈りいたします。

この度は、千葉県ユニセフ協会設立20周年おめでとうございます！
世界の子どもたちとユニセフ活動を広めるため、皆様のご協力に、心より敬意と感謝を申し上げます。
これからもこの素晴らしい活動がずっと続きますよう、お祈り申し上げます。

設立20周年おめでとうございます。
私事で都合がつかず出席ができません。
楽しみにしていましたが...
いつも貴協会の活動と活動を応援していただいております。
感謝の気持ちとともに、貴協会のますますのご発展を心より
お祈り申し上げます。

設立20周年おめでとうございます。
いつもバリエーション豊富な活動、ボランティアの皆さんとの交流、
活動の場を多く提供していただき、ありがとうございます。
これからも御一緒に、ユニセフ活動の発展を祈ります。

設立二十周年心よりおよろこび申し上げ
「子どもたちの笑顔」のために共に活動出来
ますことと
貴会の益々のご発展とお祈り申し上げます。

貴協会設立20周年、おめでとうございます。
毎年、ハロウィン・ハートの募金活動には、スカウトの奉仕の場を提供
いただいております。感謝いたします。
ますますのご発展をお祈りいたします。

協会設立20周年おめでとうございます。当会は2019年に17周年の
お年賀を差し上げました。今後とも出逢いお祈り申し上げます。

設立20周年おめでとうございます。これまで支えてくれた皆様へ感謝
申し上げます。とりわけボランティアの皆様には、日頃の活動を支えていただき
心強く思っております。
今後とも元気に世界の中に生きる子どもたちを支援する
ための活動を支え続けることを心がけてまいります。引き続き
ご支援をお願いします。おめでとうございます。

設立20周年 おめでとうございます。
いつも微細な支援をありがとうございます。多くのボランティアの皆さんと
取り組むことが、ユニセフ協会に携わることができ、感謝いたします。
今後の益々のご発展を心よりお祈りいたします。

20周年おめでとうございます。
毎年活動の前に学習会を開催し、スカウトはユニセフ活動に
関わっています。

千葉県ユニセフ協会設立20周年 おめでとうございます。
今後とも、微力ながら、お手伝いをさせていただきたいと思っております。

設立20周年おめでとうございます。
千葉県ユニセフ協会設立のころ、私も何年か、千葉県青少年団体連絡協議会事務局長として
又、ガールスカウト千葉県連盟役員、リーダーとしてお手伝いさせて頂き、マザー牧場、
房総の村などへ出かけて行った事、そして千葉県、稲毛駅(国活動)募金活動など、懐かし
思い出しております。
現在は、年齢的に身体での応援は出来なくなりましたが、陰ながらいつも協力しております。
千葉県ユニセフ協会のますますの頑張りを応援しています。

設立20周年おめでとうございます。
貴会の今後益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

設立20周年を心よりお祝い申し上げます。
長年にわたる皆様のおかげで、冬から
あらためて敬意を表しますとともに、
いっしょにご発展をお祈り申し上げます。

千葉県ユニセフ協会ご設立20周年、誠におめで
うございます。
全ての子どもたちの笑顔があふれ、健やかに育ち、
安心して生活することのできる世界が実現すること
を念願いたしますとともに、貴協会のますますのご発
展と皆様方のご活躍、ご活躍を祈念いたします。

20周年おめでとうございます！
母会からのロゴマーク募集のお知らせを聞き、それをきっかけに
ユニセフについて学ぶことが出来ました！
学校で持ち帰ったことがあって楽しかったのでもって
楽しんでます！！

千葉県ユニセフ協会の益々のご発展を陰ながら応援しています。

設立20周年を迎えられ誠にありがとうございます！
設立してまだ2年もたない愛知県ユニセフ協会にとり
その10倍も年月をご活躍される中には、私どもの想像もつかない
10倍もの様々なご苦労や喜びがあったこと存じます
是非、ご指導ご鞭撻を賜り、一緒に歩んでいけたらと願っております
世界中の子どもたちが少しでも安心して笑顔でくらすよう
貴協会のますますのご発展・ご活躍をお祈りいたします

設立20周年おめでとうございます。
10年が過ぎました。これからも引き続きご支援を
させていただきます。ご活躍を祈念いたします。

設立20周年おめでとうございます。私、個人
千葉県ユニセフ協会にボランティアで参加、ガールスカウトとの
コラボレーション、機会を作って頂きスカウトと
大変喜んでおります。



設立20周年 おめでとうございます。
ユニセフの愛が人々とのつながりの大切さや
集い出す喜びを共有し子供達の未来の輪を広げる
推進力になりやす様願っております。
盛会になりやす様願っております。

設立20周年 おめでとうございます。
ニフフォーラム 佐倉も楽しみにしています。

20周年 おめでとうございます
20年間の活動のこの努力
おめでとうございます。

応援しています

20周年 おめでとうございます。
20周年、何年か経つた中で「ユニセフ」が
思われてきました。今日と
望みを持って参加させていただきます。

いつも活動ありがとうございます。
設立20周年おめでとうございます。イベントには参加できませんが
今日は(お慶び) 使用済切手と外国コインを送付いたします。
当日の御盛会をお祈りしております。

20周年 おめでとうございます
様々な苦難の中、ユニセフの活動が
子ども達の未来を
守ることに貢献していることを
感じています。

千葉県ユニセフ協会設立20周年おめでとうございます。
皆様と関係者の方の日頃の協力と努力の賜物と存じ
ます。大切な子供達の健康と学習のために益々の発展を
願います。

この度は設立20周年のユニセフのつどいのご案内を戴き
誠に恐縮に存じます。

まずは20周年を迎えられ誠にありがとうございます。
生憎当日は既に先約が有残念ながら参加させて頂けません。
誠に申し訳なく思っております。
貴協会様の益々のご発展をお祈りしております。

設立20周年おめでとうございます。ユニセフのつどいへお誘い
ありがとうございます。武田さんの講演聞かせていただき
参加できず残念です。つどいを開催の事お知らせください
参加させていただきます。お祈りいたします。皆様の活動
応援しています。

- ・設立20周年おめでとうございます。これからもユニセフ学習などを通して様々な事を知りたいですし、自分にできる形で応援させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・おめでとうございます
- ・今後も未来を担うことのためにがんばって下さい。
- ・これからも多くの子ども達の笑顔のために活動を続けてください。
- ・20周年おめでとうございます。ブロック委員になりユニセフのこと知りラプワークなどに参加させて頂いています。今後も何かしら協力できたらと思っています。
- ・設立20周年おめでとうございます。コープみらいのブロック委員になり、ユニセフの活動を知る事ができました。ラプワークなどに参加して、これからもつながりを大事にしていきたいと思っております。「ユニセフのつどい」楽しみです
- ・20周年おめでとうございます！今後のご活躍を期待しています。

ボランティアの職員の皆様方に感謝
いたします。
空腹で生きていくことが出来たことに感謝

皆様、いつもお疲れ様です。
弊財にはあります。どうぞ、よろしくお願ひです。

設立20周年 誠にありがとうございます
より一層のご発展に心よりお祈りいたして
あります。

千葉県ユニセフ協会様の設立20周年 大変
おめでとうございます
益々大々発展されることを心より願ひます

案内状ありがとうございました。
まだ先のことと元気で参加できよう
頑張ります。

未来に向けた元氣な広場の取り組みが
あります。
房総の末端で子どもたちの未来に
向けてユニセフの心を広げていますので
残念ながら、双方とも参加できません。
お誘いありがとうございます。

子どもたちの遊んでいるときの目の輝きを見ながら、何でこの子どもたちを苦しめるような争いを人間は、繰り返すのだろうか？
人、個人は誰一人そんなこと思っていないのに？
何故今も争いが起こっているのだろうか？
子どもたちの未来のために私は今、生かされているのだと思う！

設立20周年おめでとうございます。いつも、
はじめまして、ユニセフの活動に 感じています。
紛争、飢饉、児童労働、教育について 人権を守る大切
な役割をこなしています。私達が、より良い社会
を築くには、世界で、苦しんでいる人々が、多大な
努力を要すると言います。今回の代わり、知恵を分かち合
い、協力することを、
願いました。

設立20周年 おめでとうございます！
以前「国谷裕子氏」講演会に参加して
大変充実した内容だったと記憶しています。
今回は予定が有り残念ながら、機会があればまた
参加したいと思っております。

設立20周年おめでとうございます。当日地域のイベント参加
の予定が有りましたが、参加出来ず残念です。当分の間は
第20回は今年度も機会を伺って参加させていただきます。
世界の子どもたちの現状と学び支援の重要性を活動する団体として
今後とも取り組んでいきたいと思います。

御盛会をお祈りしています。

千葉県ユニセフ協会 設立20周年誠にありがとうございます。
お誘いいただきありがとうございます。ユニセフ活動に各個人
の力で支えられたいと思っております。

- ・20周年おめでとうございます。これからも活動を応援します。
- ・設立20周年おめでとうございます。みなさんの行動と努力の賜物と思っております
- ・千葉ユニセフとは、映画ひまわりからのお付き合いです。
- ・これからも様々な発信を期待しています。
- ・20周年おめでとうございます。これからも様々な行事に参加していきたいと思っております。
- ・おめでとうございます。これからも、子どもたちへの支援を続けていって下さい。
- ・20周年、おめでとうございます。この先の未来にhappyが当たり前のように、感じられる世界が広がりますように……。
- ・この20年で世界が激変したことを、3~4年前のこのように思います。
- ・千葉県ユニセフ協会、設立20周年おめでとうございます。一緒にお祝いさせていただきます。



千葉県ユニセフ協会 役員一覧

(2024年9月1日現在)

敬称略・50音順にしております

県協会役職	お名前	役職名
顧問	熊谷俊人	千葉県知事
顧問	神谷俊一	千葉市長
会長	横手幸太郎	国立大学法人千葉大学学長
副会長	俣木洋一	株式会社千葉銀行常務執行役員
専務理事	首藤英里子	生活協同組合コープみらい執行役員千葉県本部長
常務理事	黒坂典雄	千葉県青少年団体連絡協議会会長
常務理事	鈴木國夫	(公財)日本ユニセフ協会顧問
常務理事	吉田和彦	(公財)ちば国際コンベンションビューロー代表理事
理事	入江康文	(公社)千葉県医師会会長
理事	大久保利宏	敬愛大学経済学部特任教授
理事	片平紀行	日本ボーイスカウト千葉県連盟理事長
理事	小林良記	(一社)ガールスカウト千葉県連盟連盟長
理事	佐久間英利	(一社)千葉県商工会議所連合会会長
理事	佐々木由佳	生活協同組合コープみらい理事
理事	染谷光男	キッコーマン株式会社特別顧問
理事	高橋由美子	生活協同組合パルシステム千葉理事長
理事	田村明比古	成田国際空港株式会社代表取締役社長
理事	中元広之	株式会社千葉日報社代表取締役社長
理事	松元善一	千葉県農業協同組合中央会代表理事会長
理事	吉田謙次	株式会社オリエンタルランド代表取締役社長
監事	島田直樹	千葉県弁護士会会長
監事	熊谷俊行	株式会社京葉銀行取締役頭取
評議員	青柳洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長
評議員	尼崎英之	千葉県生活協同組合連合会専務理事
評議員	飯田克志	東京新聞千葉支局長
評議員	生嶋章宏	DIC株式会社 DIC川村記念美術館館長
評議員	石井智康	石井食品株式会社代表取締役社長
評議員	伊藤一郎	毎日新聞社千葉支局長
評議員	宇治知英	イオンリテール株式会社執行役員南関東カンパニー支社長
評議員	風戸正	千葉県高等学校長協会会長
評議員	神永幸宗	中山身語正宗関東別院誓照寺副院主
評議員	幸内康	読売新聞千葉支局長
評議員	榊原正策	千葉県中学校長会会長
評議員	坂本雅信	千葉県漁業協同組合連合会代表理事会長
評議員	佐々木健	朝日新聞社千葉総局長
評議員	島田亮	ジェフユナイテッド株式会社代表取締役社長
評議員	綱島浩三	日本放送協会千葉放送局 局長
評議員	徳永澄憲	麗澤大学学長
評議員	豊田耕太郎	株式会社千葉ロッテマリーンズ執行役員ボールパーク・コミュニティ本部本部長
評議員	中田邦明	千葉県小学校長会会長
評議員	永富博之	日本労働組合総連合会千葉県連合会会長
評議員	名雪雅美	農事組合法人和郷園 総務部長
評議員	林昇志	株式会社グリーンタワー社主
評議員	前田伸	株式会社マザー牧場代表取締役社長
評議員	美濃地誠	株式会社ホテルオークラ東京ベイ代表取締役社長総支配人
評議員	谷澤健一	NPO法人谷沢野球コミュニティ柏理事長
評議員	山口幸治	株式会社ベイエフエム代表取締役専務
評議員	吉田和子	(公財)吉田記念テニス研修センター評議員

ユニセフとは

ユニセフ（UNICEF：国連児童基金）は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護、HIV/エイズ、緊急支援、アドボカシーなどの支援活動を実施し、その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会とは

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、世界33の先進国・地域にあるユニセフ協会（ユニセフ国内委員会）のひとつで、日本におけるユニセフ（国連児童基金）の公式な窓口です。

ユニセフとの協力協定に基づき、日本国内において、ユニセフの活動へのご支援をお願いする募金活動、ユニセフの活動や世界の子どもたちについての広報活動、子どもの権利の実現を目的としたアドボカシー活動を行っています。1955年に財団法人として設立し、2011年に公益財団法人へ移行認定しました。

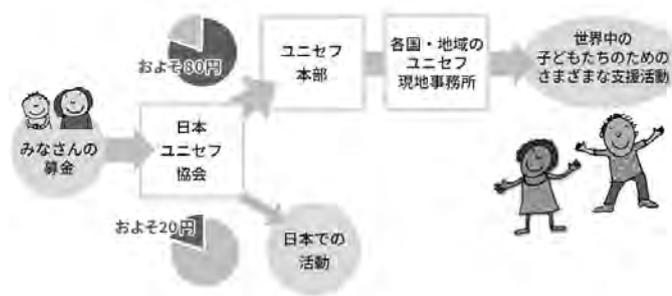
千葉県ユニセフ協会とは

千葉県ユニセフ協会は、(公財)日本ユニセフ協会と協力協定を結ぶ県内唯一の団体として、地域とのつながりを大切にしながらユニセフの広報・募金・学習支援などを行っています。県内でのさまざまな地域活動や、国際交流などを通じて、'ユニセフの輪'を広げています。現在、全国に27の協定地域組織が活動しています。

ユニセフの組織



ユニセフ募金の流れ



子どもの権利条約

子どもの権利条約の基本的な考え方は、次の4つで表されます。それぞれ、条文に書かれている権利であるとともに、あらゆる子どもの権利の実現を考える時に合わせて考えることが大切な、「原則」としてとされています。これらの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「こども基本法」にも取り入れられています。



差別の禁止 (差別のないこと)

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。



子どもの最善の利益 (子どもにとって最もよいこと)

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。



生命、生存及び発達に対する権利 (命を守られ成長できること)

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるように、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。



子どもの意見の尊重 (子どもが意味のある参加ができること)

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。

20周年 ロゴとなかまたち



設立20周年記念ロゴ応募作品



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織
千葉県ユニセフ協会

〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30
コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館
TEL 043-226-3171 (平日10時～16時)
FAX 043-226-3172
E-mail info@unicef-chiba.jp
ホームページ www.unicef-chiba.jp